CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版　|使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要

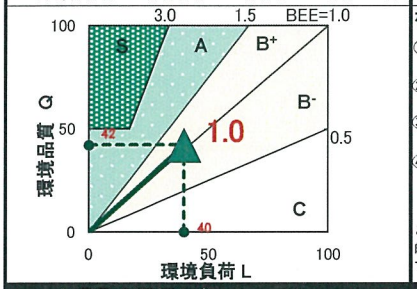
建物名称	近畿中央胸部疾患センター病棟建替	階数	地上8F
建設地	堺市北区長曽根町1180-1	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月　竣工	評価の実施日	2016年12月14日
敷地面積	82,544 ㎡	作成者	深尾 元詞
建築面積	1,661 ㎡	確認日	2016年12月16日
延床面積	10,888 ㎡	確認者	株式会社 山田綜合設計

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

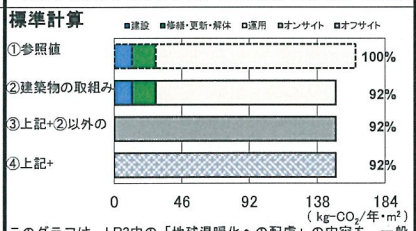
BEE =1.0 ★★★☆☆

S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★



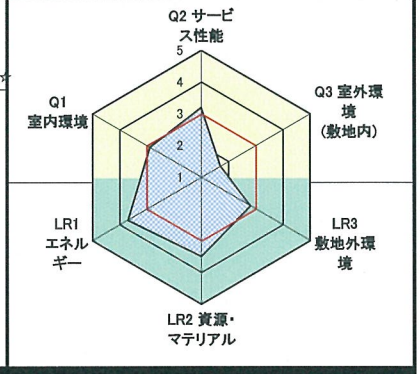
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

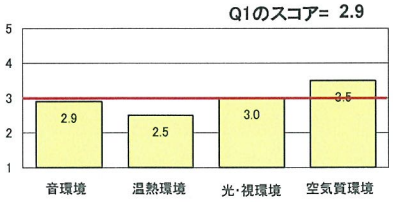
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



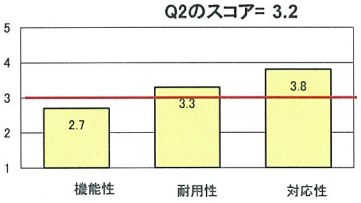
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.6

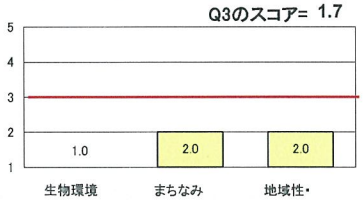
Q1 室内環境　Q1のスコア= 2.9



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.2

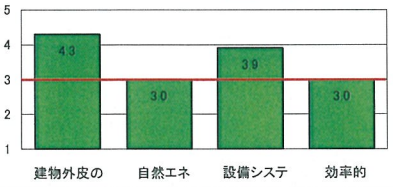


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 1.7

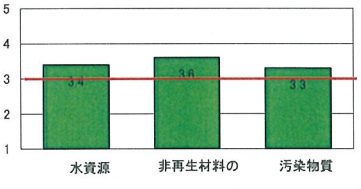


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.4

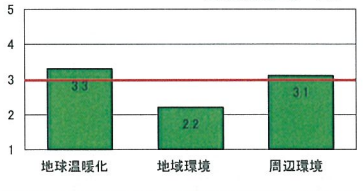
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.7



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.5



LR3 敷地外環境　LR3のスコア= 2.8



3 設計上の配慮事項

総合		その他
外皮に断熱施工することにより建物の熱負荷低減に配慮した。		0
Q1 室内環境	**Q2 サービス性能**	**Q3 室外環境（敷地内）**
外皮に断熱材と複層ガラスの採用により、外界から熱的侵入の抑制。 内装材はすべてＦ☆☆☆☆を採用。 館内は全面禁煙とした。	内装に防汚性の高い内壁材、床材を採用、建物の階高、空間の形状・自由さに考慮した。	中庭を設置することにより内部に開放的な空間を形成。
LR1 エネルギー	**LR2 資源・マテリアル**	**LR3 敷地外環境**
外皮に断熱施工をすることにより外部からの熱負荷を軽減している。 高効率な個別空調システムとＬＥＤ照明器具を採用し一次エネルギーの低減している。	大便器、小便器、洗面器に節水器具を採用し節水に取り組む。 躯体材料以外にリサイクル材を採用。	ライフサイクルCO2排出率92%。 広告物照明なし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE堺 堺市重点項目シート

＜新築・既存＞ Sakai_s2015v1.0

1. 建物概要			BEE	BEEランク
	建物名称	近畿中央胸部疾患センター病棟建替	1	B+
	建設地	堺市北区長曽根町1180-1		
	主用途／延床面積	病院 ／ 10,888.33 ㎡		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO_2削減	3	❀❀❀・・
省エネ対策	4	❀❀❀❀・
みどり・ヒートアイランド対策	2	❀❀・・・
安全快適な暮らし	3	❀❀❀・・

再生可能エネルギー利用施設の導入状況								
	太陽光発電	－	風力	－	地熱	－		
	太陽熱利用	－	水力	－	バイオマス	－		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO2削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3－1」のスコアによる評価値		3.3	3

省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1－2 2. 1. 2」のスコアによる評価値	建物全体	4.0	4
		住居・宿泊部分	4.0	
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1－1」のスコアによる評価値		4.3	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1－2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1－3」のスコアによる評価値		3.9	
効率的運用（集合住宅は対象外）	CASBEE「LR1－4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2－1」のスコアによる評価値		3.4	

みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3－1」のスコアによる評価値	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3－3. 2」のスコアによる評価値	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3－2. 2」のスコアによる評価値	2.0	

安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2－1 1. 1. 3」のスコア による評価値	3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2－2 2. 1」のスコアによる評価値	5.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3－3 3. 1」のスコアによる評価値	3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3－2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	1.0	

4. その他

技術の名称	考慮事項

特に配慮した事項